

乾側をよくする会

1 基本データ

- 地区名 乾側地区
- 地区人口 965人 (H27.6 現在)
- 面積 10.51km²
- 地区の沿革

乾側地区は、市街地の北西部に位置し、地区西端にある花山峠を境に福井市に接し、地区中央の東西を国道158号線が横断しており、大野市の西の玄関口となっている。

8地区からなり戸数約230戸で、酒米と種籾産地として有名な純農村地域である。

- 実施主体 乾側をよくする会

2 現状と課題

乾側地区は縄文時代から人々が住み始め、大野でも最初に開けた場所のひとつである。弥生時代や古墳時代には牛ヶ原を中心に大きな力を持った豪族が現れ、乾側地区内に多くの墓や古墳が作られた。中でも牛ヶ原の山ヶ鼻古墳群には奥越で唯一の前方後円墳があり、鉄剣や貨幣(和同開珎)も見つかっている。なお、大野盆地内の古墳のうち6割以上が乾側地区に集中している。

また、稲作が始まり、奈良時代には寺や貴族・豪族の土地である荘園が発達したが、牛ヶ原の荘園は、奈良時代には奈良東大寺領、平安時代には京都醍醐寺領として、今の大野市街地の北半分にまで広がっていた。その牛原荘には後に牛ヶ原城が築かれ、三社神社が建立された。なお、尾永見区には、稲作に縁の深い雨乞い踊りが無形民俗文化財として継承されている。

さらに、南北朝時代に築かれた戌山城は、金森長近によって越前大野城が築かれるまで、戦国時代の激動期を含め200年余りの間、大野とその周辺地域を治める斯波氏、朝倉氏の居城

として、県内2番目の多さの畝堀数と奥越最大の規模を誇る山城であり、一乗谷城の東方面の軍事拠点として重要な役割を果たしていた。

このように、乾側地区は古来、大野盆地の中でも最も歴史と伝統のある地域であり、その価値と魅力を高めるために、平成22年度から3ヵ年をかけて「みくら清水・戌山城址」及び「牛ヶ原城址・三社神社」の2コースの登山道整備を、平成25年度では、城址登山道の案内看板及び主郭付近へ木製ベンチを設置するなど、史跡整備に取り組むと同時に乾側の歴史について、多くの方に関心を深めて貰うためにマンガ調本の分かりやすい「乾側歴史ものがたり」を発刊した。また、昨年度は、これまでに整備してきた史跡を、乾側への来訪者に分かりやすく見て貰い、現地の史跡に足を運んで貰えるように「歴史ロマンの郷 乾側」と題した乾側史跡総合案内看板を制作し、JR牛ヶ原駅前に設置した。

「残りたい、訪れたい、住みたい」と思えるような魅力ある地域づくりを行うには、今後、更なる地域資源の洗い直しや掘り起こしを行い、これまでに整備してきた史跡・伝統等を始めとする乾側の魅力を周知・継続発展させていくことに併せて、加速する地域の人口減少問題に対して、いかに取り組んでいくかが最重要課題となってくる。

3 事業の内容

(1) 普及啓発・伝承事業

① 乾側史跡巡りウォーク

日時 平成27年10月17日(土)

午前9時～正午

参加者 約40人

乾側の歴史や魅力への理解を深めて貰うと同時に健康と交流を目的とした「乾側史跡巡りウォーク」を地区住民を始め市内全域を対象に企画した。

乾側公民館に集合した参加者は、みくら清水

→戌山城址主郭→天空の城撮影スポット→上丁登り口→蓮如上人の碑→六地藏→火柱地藏→真乗寺山門→丁古墳群の順に、途中、史跡ごとに市の学芸員から説明を受けながら、約3時間かけて散策した。



天空の城 撮影スポットより

②ホームページ及びパンフレットの制作

昨年度、これまで整備してきた史跡等を分かりやすく表記し、来訪者に足を運んで貰えるよう「歴史ロマンの郷 乾側」と題した乾側史跡総合案内看板を制作し、JR牛ヶ原駅前に設置した。本年度は、更に史跡を始めとする乾側のたくさんの魅力を分かりやすく紹介して、より多くの方に足を運んで貰えるようにホームページ及びパンフレットを制作した。

制作にあたり、編集委員会を立ち上げ、載せる情報の内容等を検討するなど、その制作に取り組んだ。



編集委員会の様子



乾側魅力紹介ホームページ



乾側魅力紹介パンフレット

(2) 登山道・史跡整備事業

①乾側史跡案内標柱の設置

乾側史跡総合案内看板、ホームページ、パンフレットなどを見て足を運んでくれた来訪者が現地の史跡を分かるように史跡名を記した標柱を現地に設置した。



火柱地藏（中丁）外3個所に標柱を設置

②戌山城址登山道の補修作業

戌山城址の登山道については、数年前に登山

者が登りやすいように整備を行ったが、経年劣化により、登山道があちらこちらで損傷したため、補修作業を行った。

なお、登山道の補修作業については、今後、毎年、継続して取り組むこととする。



戌山城址登山道の補修作業

4 事業の成果

本年度は、これまで取り組んできた事業を継続すると同時に乾側の魅力をいかに情報発信するかを目的として事業展開を実施した。

まず、普及啓発・伝承事業として開催した「乾側史跡巡りウォーク」では、地区の住民や児童の他に地区外住民の参加もあり、ふるさと意識の向上と地域の魅力を発信するとともに市学芸員による史跡等の説明により、一層史跡に対する理解を深めることができた。また、乾側史跡総合案内看板に載せた史跡を始めとする乾側のたくさんの魅力をWEBと紙面からすぐに検索できるようにホームページとパンフレットを制作し、情報発信することで今後、乾側への来訪者数の増加が期待される。

次に、登山道・史跡整備事業については、来訪者に現地の史跡が分かるように各史跡の横に史跡名を記した標柱を設置した。また、戌山城址は、最近、全国的に有名になった「天空の城越前大野城」が見えるスポットがあり、その登山道が経年による損傷が目立ち危険なため、補

修作業を地域住民自らが汗を流して取り組むことで「地域力」の向上が図られたと同時に戌山城址への更なる観光客の呼び込みに繋げることができた。

これら一連の事業への取り組みを通じて、地域内に貴重な文化財が存在することを再認識し、地域への愛着や誇り、ふるさと意識が高揚され、地域の史跡や伝統文化を継承していくと同時に地域の魅力を情報発信していくことを通じて、自らの手で地域を更によくしていこうとする地域づくり活動の活性化にも繋がったと考えられる。

5 今後の展望

本年度は、乾側の魅力を情報発信して、多くの方に乾側を訪れて貰えるようにホームページやパンフレットを制作することを主な事業として取り組んだ。今後は制作したホームページやパンフレットを一層周知していくことは勿論のこと、ホームページのフェイスブック機能を利用して、乾側の情報を日々、タイムリーに多くの方に発信し、乾側の魅力等を一層伝え広めていきたい。併せて、これまで取り組んできた普及啓発・伝承事業として、地域を代表する史跡の戌山城址や牛ヶ原城址の登山道補修作業及び地域に伝わる伝統文化・伝承芸能の次世代への継承を継続していく。

また、「乾側人口減少対策」として、新たな事業を展開していく。地域活性化には、人口対策は必要不可欠であり、いかに人口を増やしていけるかが最重要課題である。

◇乾側在住の子育て世代へ

◇乾側に来て暮らしてくれる人を呼び込む

上記2つを主なテーマとした乾側の特色を活かした人口減少対策に知恵を出して取り組み、乾側地区の活性化に繋げていきたい。